

# 「協働に関する市民アンケート」集計結果について

## 1 調査の概要

### (1) 調査の目的

市民が日常生活で感じている市の様々な問題や課題を把握し、市民と行政が一緒に取り組むべき地域課題を選定するための基礎資料とするとともに、今後の協働に関する施策に反映していくことを目的として実施しました。

### (2) 調査の方法

調査にあたっては、市内公共施設への配置や平成 28 年度水戸市民のつどい、こみっ  
とフェスティバル 2017 の参加者への配布などにより行いました。回収については、郵  
送またはWEBサイト経由により、55 人から回答をいただきました。

なお、標本抽出方法については、無作為抽出によらないため、統計的な処理結果は  
参考値とし、記述いただいたご意見等の内容の把握に重点を置くこととしました。

### (3) 調査の期間

平成 29 年 2 月 13 日から平成 29 年 3 月 15 日

### (4) アンケート内容

テーマを「市民参加と水戸のまちづくり」とし、市民と行政とのかかわりについて  
問う項目や、水戸のまちづくりに反映するための項目を設けました。

### (5) 実施担当課

水戸市市民協働部市民生活課

(水戸市中央 1 丁目 4 番 1 号 電話 029-232-9151)

## 2 調査結果の概要

### 問1 いまの水戸について、あなたの「想い」をお聞かせください。

(1-1) あなたがいま水戸で暮らしていて、「水戸は住みやすいなあ」と思う点を具体的に記入してください。

水戸市の住みやすさとして、自由に記述していただいたところ、「緑豊かで気候が良い」(16人)、「自然災害が少ない」(13人)、「スーパーや銀行など生活基盤が整っている」(13人)の3つの内容に概ね集約される傾向となりました。その他として、「物価があまり高くない」、「水道水がおいしい」などのご意見がありました。

「水戸は住みやすいなあ」と思う点	回答数
緑豊かで気候が良い	16
自然災害が少ない	13
スーパーや銀行、交通機関など生活基盤が整っており便利である	13
その他	12
計	54

(※自由記述ですが内容が同じものについては、一つの項目にまとめました)

(1-2) あなたがいま水戸で暮らしていて、困っていることや不便に感じていること、改善した方がよいと思っていることはありますか？

項目	回答数
ある	42
ない	11
無回答	2
計	55

(1-3)「ある」を選択した方にお聞きします。それは、どのような分野ですか？(3つまで選択可)

水戸で暮らしていて、困っていることや不便に感じていること、改善した方がよいと思っていることについては、「交通」の分野(10人)が最も多く、続いて、「道路・河川」(10人)、「地域活動」(10人)となっております。「交通」については、車の運転が出来なくなった時の移動手段に不安を感じているというご意見が多くありました。

項目	回答数	主な意見
子育て	3	・地域内で子供を遊ばせる施設が少ない。
交通	15	・自家用車が運転できなくなったとき、病院や買い物をどうしたらよいか心配になる。 ・車の運転ができないと生活しづらい。バス路線図が見つらく本数も少ない。 ・老人の一人暮らしが多いので、その人たちの足回りになるような市内循環バスや老人専用の格安のタクシー等ができると大変便利。
道路・河川	10	・歩道の整備が悪く安全が図られてない。 ・駅前輪場は地下で不便。買い物後は荷物が重く、転んだら大けがにつながる。 ・下市は水害が心配。堤防の補強をお願いしたい。
観光	4	・偕楽園もあり、県庁所在地でありながら、知名度がいまいちと感じる。
産業・農業	6	・高齢化による耕作放棄などがあるため、土地の有効活用ができないか。 ・若い世代の定着を望みたいが、大きな産業がなく難しい。
健康・福祉	4	・85歳以上の方の老人ホームに優先して入れる仕組みづくり(火事・事故の観点から)。
教育	0	
防災・防犯	7	・地震等の災害に対して強い街にしてほしい。 ・街灯の整備が必要。
環境・ごみ	7	・アパート・一人暮らしの方のごみの出し方が悪い。 ・千波湖のアオコの発生。現在の水の入れ替えは根本的な対策ではない。水深を深くする必要がある。

まちづくり	6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水戸駅から大工町までの景観が悪い（のぼり旗）。</li> <li>・まちづくりの基本となる主要道路が形成されていない。</li> <li>・中心市街地の活性化は、そこに住む者が自ら動かねば実現しない。行政はそれを支援すればよい。</li> </ul>
上下水道	6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・下水道の普及が遅れている。</li> </ul>
公園・緑地	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツ公園が少ない。特にテニスコートの面数。</li> </ul>
住まい	1	
地域活動	10	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町内会組織の弱体化、近所づきあいが無い。</li> <li>・誰かがやるだろうという風潮がみられ、みんなで協力という地域の活動の原点が欠けている。</li> </ul>
消費生活	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活用品の買い物が不便。</li> <li>・市中心部での買い物が不便で、郊外での買い物が多い。</li> </ul>
その他	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者になり、一人になったときが心配。</li> </ul>

## 問2 未来の水戸について、あなたの「想い」をお聞かせください。

あなたが未来の水戸で、快適な暮らしを送っていることを想像すると、どんな水戸を思い浮かべますか？「水戸が〇〇〇になったらいいのになあ」の〇〇〇〇に当てはまる言葉を考えてみてください。

県庁所在地としての水戸市のあり方から、日常生活に関する事など、様々な分野にわたるご意見をいただきました。

かつてのまちの賑わいや活気を望むもの、隣近所同士とのふれあいを求めるもの、日常生活に安心・安全を感じることができるよう暮らしを求めるものなどについて、多くのご意見がありました。

(2-1) 「水戸が【                   】 になったらいいのになあ」の回答	(2-2) 「どうしてそう「想い」ましたのか」の回答
元気	水戸駅から大工町にかけての人通りが少ない。
隣近所、町内会活動が活発に	みんなが仲良くなれたらよい。
みんな一つの家族のように	昔のようにあちこちで立ち話をして聴いてくれる人がいれば心が明るくなる。
日本を代表する文化都市、芸術都市	文化、芸術教育に力を入れ、観る眼、聴く耳をもった水戸人を育ててほしい。

高齢者，障がい者，子ども等弱者にやさしい町	バリアフリー，運動・スポーツ施設，公園緑地等の充実。
自然が豊かで近所と仲良くつきあえる町	自然が豊かならば心も豊かになる。仲良くつきあえれば絆が生まれる。
他の地域の模範	市と市民が一体となって企画立案を図る考えで。
アパートの住人を含め，隣近所が顔見知りで互いに助け合うよう	知名度はびりのでよいので，住民が幸せ度で上位に感じられれば良いと思う。
高齢になっても日常生活が豊かに過ごせたら	交通の便や買い物，娯楽などの日常生活が不便。
人間味豊かな街	近所同士のつきあいがだんだん離れてしまっている。市として改善してほしい。
災害用大型公園をつくり，3世代が種々のイベントで交流を深める	狭隘な道路が多く，田畑の開発も無秩序である。
ホテルとか旅館，大きなレストラン	梅まつりなどで団体の観光客が来ても，駐車場や食事場所，泊まる場所がない。
高齢者に暮らしやすい街	高齢化が進んだ時に，どこに相談しどんなところに世話になるのかわからない。身近にそのような情報がない。
高齢者等の交通弱者にやさしい街	健康で自立し，快適に生活を送ることが何より重要。生活必需品のデリバリーの拡大，出張販売，コミュニティバスの普及が重要。
自給自足のまち	無いものはお金を払って遠くから取り寄せるなどが少しでもなくなっていくことが，これからの時代に望ましいことだと思うから。
放射能等原発の恐ろしさから逃れたい	一度でも事故が発生したら水戸周辺は生きていけない場所でなくなる。
尖らない街	タクシードライバーの態度にいやな思いをしたことがある。
空が広大に，足元が平らに	電線がなくなり青空が見上げられればよい。道路を広くするのは難しいが，歩道が平らになれば歩きやすくなる。
人であふれていたなら	まちなかがとてもさみしい。いいところはあるが面白くない。
隣近所がゆとりをもって生活	近所どうしのプライバシー保護のため，関心が薄くなっている。昭和の景気のよいころは，子供は地域の共有として存在していた。

つくばよりも強い発信地	このままでは県庁所在地「水戸」は益々右肩下がりになりそう。水戸学を有効に広め、水戸の地に住む住民が自信を持ち、アピールしてゆけるような若者を育成し続けるとよい。
今のままでよい。	コミュニティとしての連帯を強くはないが感じる。観光地ではないので全く知らない人を気にする必要がなく静かに暮らせる。
無介護人生を送れるまち	高齢化社会になっても、一人でも多くの人が、健康に留意しながら元気を保てる方向を考えるまちにしてゆきたい。
明るく	なんとなく暗い感じ、町がくすぶっている。
活気あふれる他自治体からの転入者ぞくぞくの市	ゆりかごから墓場まで、一貫した魅力あふれる自治体を本当に作るのだということを、行政、議会が身を投げ出し、市民のためにやるんだという方向性を出してもらいたいから。
全国的に知名度が知られ、今まで以上に有名な水戸市	残念ながら水戸市は関東地区でも知名度が低いから。
有名な観光地	他県からいろいろな人が訪れ、水戸の好感度がアップする。
新幹線が通ったらよいと思います	天気予報等でも茨城が外されているような気がする。新幹線が通れば、茨城のイメージもよくなりおのずと水戸も発展すると思う。東関東道の水戸までの延長が早期開通するよう願います。
明るい地域が増える	街の中が暗い、街灯不足。
安心・安全な街	生活の基本だから。
税金が安かったら	年金生活者としては下がることはあっても上がることはない。市の事業では、昨年度実施したから今年もではなく、本当に必要なのか精査して、税金を使ってほしい。
子どもから大人まで大切にしたい 同じ言葉を伝えられたら	いま水戸の人たちは自己主張のみが強いのではないかと。協力・協働というが、教育の高い者ほど自分の殻に閉じこもって外に出ようとしないのでは。
元気で活力ある街	若者に魅力ある活力ある街にならないといけない。
弱者にとって住み良い水戸市	弱者にとって住み良い水戸市になれば、すべての市民が住み良くなるから。
国際都市	これからは海外からの定住者が必要。

**問3 あなたと市政との関わりについてお聞かせください。**

(3-1) 水戸市では、市民の皆さんと行政がともに地域の課題などについて考える機会として、様々な取組を行っています。次にあげる項目の中で、今まで、参加したことがあるか、または知っているか、について当てはまるものにチェックを付けてください。

「参加したことがある」(128人)と「参加したことはないが、知っている」(200人)と答えた方を合わせると、延べ328人となり、よく知られているものといえます。「参加したことがある」では、市民懇談会が35人と最も多く、続いて、市が実施する各種のアンケート調査(23人)となっています。「知らない」では、意見公募手続が20人と最も多くなっています。

項目	参加したことがある	参加したことはないが、知っている	知らない
1 市が実施する各種のアンケート調査	23	12	10
2 市政モニター制度	9	34	5
3 審議会等の公募委員への応募	4	24	17
4 審議会や市議会等の傍聴	14	30	6
5 市民参加型のフォーラムやワークショップ	16	24	7
6 意見公募手続	4	21	20
7 市民懇談会	35	9	7
8 事業提案, アイデア提案	8	25	14
9 市イベント等の実行委員会	15	21	10
10 その他(具体的に記入してください)			
計	128	200	96

(3-2) 今後、上記の項目のような市政に参加する機会があれば参加したいと思いますか？

今後についても、「参加したい」と答えた方が 34 人であり、市政への高い参加意欲がうかがえます。

回答	回答数
参加したい	34
参加したくない	17
計	51

(3-3) 「参加したい」を選択した方にお聞きします。市政に参加したいと思うのはどの分野ですか？(3つまで選択可)

参加したいと思う分野では、「地域活動」と答えた方が 23 人で最も多く、続いて「健康・福祉」(15人)、「防災・防犯」(14人)、「まちづくり」(13人)となっています。

項目	回答
子育て	6
交通	7
道路・河川	4
観光	9
産業・農業	4
健康・福祉	15
教育	3
防災・防犯	14

項目	回答
環境・ごみ	5
まちづくり	13
上下水道	3
公園・緑地	6
住まい	1
地域活動	23
消費生活	3
その他	1



(3-4)「参加したくない」を選択した方にお聞きします。そう思った最大の理由は何ですか？（1つだけ選択）

参加したくないと思った理由では、「行政にまかせているから」と答えた方が7人で最も多く、続いて「仕事、学業、子育てなどで忙しく時間がないから」（5人）となっています。

項目	回答
1 仕事、学業、子育てなどで忙しく時間がないから	5
2 参加の仕方が分からないから	2
3 興味が無いから	2
4 意見が反映されないと思っているから	2
5 行政にまかせているから	7
6 その他（具体的に記入してください）	1 (高齢のため)
計	19

**問4** このようなアンケートを、今後もテーマを変えて定期的を実施する予定です。今後のアンケート作成に役立てるため、アンケートに回答した感想をどんなことでもかまいませんのでお聞かせください。

主なご意見
アンケート結果をどのように公表するか。
結果を知りたい。アンケートによって水戸のまちがよくなることを願う。（複数）
大きな枠組みを壊す覚悟で水戸を変えてほしい。
市民センターの活用を図るために、地域住民の意見を聴く機会をつくってほしい。
市民生活の不便さと環境の安全整備を少しずつ改善してゆけば、住みよい水戸になる。
記述式が多いと回収率が低くなる。（複数）
結果を検討し、良いところはすぐ改善すべき。
毎年行ってほしい。

千差万別の考えがあると思うので、市民との協働は大変有意義な方法。
大変良いことと思う。
問2は、願望をズバリと言わせて何が分かるのか疑問に感じた。
内容が広く考えをまとめるのが難しい。年代を区切るなど小分けにしてほしい。(複数)
地区の活性化を図るため、各地区でまとめたプロジェクトを推進するための人材の育成と予算化。
具体的にどこまでアンケートが活かされるか疑問。わりと読んだのみや、枚数が集まった結果だけに終わりやしないか。アンケートは向上するために非常に実践に役立つ。
今回のアンケートにはそれほど興味はない。自治会役員をしていると、住民のほとんどが自治活動に興味を持ってない。誰かがやってくれるだろうという思いでは。それだけ市政に満足しているのではないか。
広場、公園のベンチなどで、みんなでお話合いができ、楽しい場所を作ることが大事。
関心のない市民に対し、魅力ある考え方への高揚を醸成させていくことが大切。
弘道館・偕楽園等の広報活動予算を増加し、積極的に推進してほしい。
今後もぜひ参加したい。
普段思っていることを少し書けた気がする。
結果を紙ベースでも発表してほしい。また市の方針も発表していただきたい。町内会自治会が行政と共に活動するのがベターではないか。
一般住民から広く回数を多く実施した方がよい。

**問5 他に、市政への市民参加や水戸のまちづくりについてのご意見がありましたら記入してください。**

主なご意見
健全な財政。
イベントなどをやるときには、高齢者にも行きやすい施設がよい。
若い人たちの声や頑張りが高齢者には伝わらない。
市民センターを住民のオアシスとなるよう充実してほしい。今は逆行。
市民のため優先して行っていくものを早く市政に反映してほしい。
市民センターを利用した催しが多い割には、駐車場や建物が手狭になっている。

<p>借楽園がありながら、宿泊者が少ない。ホーリーホックがありながら、スタジアム改修や職員の応援など市のサポートが少ない。</p>
<p>行政や市民から郷土愛という言葉をよく耳にするが、地域の文化、歴史を考えたら「日の丸」くらいは形として掲げてはどうか。</p>
<p>町内会加入の件。</p>
<p>4大プロジェクトで税金が高くないか心配。見川市民センターの建て替えをお願いします。</p>
<p>広報、テレビ等でイベントを積極的にPRしてほしい。</p>
<p>市民懇談会では、抽象的、観念的なお話でよく分からなかった。</p>
<p>参加しやすい体制づくり。</p>
<p>経済団体や商工団体も市民に違いないが、このような市民参加より重きをなしているのではないかと感じる。</p>
<p>行政の機能をコストで評価する方式を取り入れてほしい。</p>
<p>メインの人は決まっているが無関係の人を選出すればいいのでは。</p>
<p>アンケートは読むだけで終わりにせずに次へつないでほしい。</p>
<p>市政に満足している市民にこれ以上よいまちづくりといっても振り向いてもらえない。</p>
<p>働く場所の育成、造成を行い、労働人口の流入を図るような施策を行うこと。若者の増加と地域経済の強化に長く努めて、強固な地盤を育成することが発展につながる。</p>
<p>市民センターごとにモニター委員を選定し、地域の実情を聴くこと。地域の「プラン」を策定したのだから。</p>
<p>就学児、勤労者の時点では、このような考えは到底考えることもない。人生に暇ができ、初めてこの件に関して意見を持つもの。それを踏まえ、一人でも多くの方に市政への参加を意識づける施策が必要。</p>
<p>下水道や道路の整備（私道を含む）を早急に要望します。市が主催する防災訓練やイベント等には積極的に参加する。ボランティア活動もしっかり参加する。</p>
<p>旧市内の利便を図るためには区画を重点的に行う。</p>
<p>水戸の教育についてもっと歴史を大切にしたいものとし、家庭から学校まで同じ意識をもって教えられたらと思う。SNSによる先進的な指導も必要と思うが、水戸人としての教えの継続があれば黄門まつりももっと盛り上がるのではないかと。</p>
<p>事業計画当初から市民の意見を取り上げてほしい。</p>

**問6 下記の項目のあてはまるところにチェックをつけてください。**

(6-1) 性別

項目	男	女
回答	33	18

(6-2) 年齢

項目	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	90歳代以上
回答	0	0	1	1	6	15	27	3	0

(6-3) 職業

項目	自営業	会社員	公務員	団体職員	パート/ アルバイト
回答	4	4	0	0	3

項目	専業主婦 (主夫)	学生	無職	その他
回答	8	0	33	1

(6-4) 住居形態

項目	持ち家 (一戸建て)	持ち家(マンションなどの集合住宅)	借家, アパート, 賃貸マンション	市営住宅, 県営住宅, 公団住宅
回答	50	0	2	0

項目	社宅, 寮, 官舎	下宿, 間借り, 住込み	その他
回答	0	0	0

(6-5) 居住地 (※地区会, 小学校区等を参考に区分けしています)

項目	三の丸	五軒	新莊	城東	浜田	常磐	緑岡	寿	上大野
回答	1	2	1	3	5	3	2	3	4

項目	柳河	渡里	吉田	酒門	石川	飯富	国田	河和田	上中妻
回答	0	1	3	2	5	2	0	2	2

項目	山根	見川	千波	梅が丘	双葉台	笠原	赤塚	吉沢	堀原
回答	1	1	1	2	2	0	1	0	2

項目	下大野	稲荷第一	稲荷第二	大場	鯉淵	妻里	内原
回答	0	0	0	0	0	0	1

(6-6) 出身地

項目	水戸市	水戸市以外 (茨城県内)	茨城県外	海外
回答	30	11	11	0

(6-7) 水戸市の居住年数

項目	1年未満	1～5年	6～10年	11～20年	21～30年
回答	0	2	2	1	4

項目	31～40年	41～50年	51～60年	61～70年	71年以上
回答	5	8	13	8	9

(6-8) 家族構成

項目	単身 (ひとり暮らし)	夫婦のみ	親と子 (2世代)	親と子と孫 (3世代)	その他
回答	3	29	15	5	1